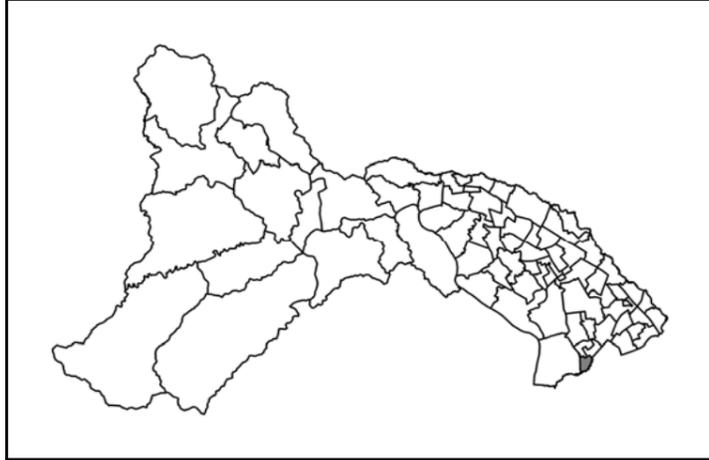


○地区を構成する町丁

【南区】新磯野1丁目・3丁目・4丁目、相武台1丁目～3丁目

○位置図



○地区自治会連合会名(自治会名)

相武台(相武台前1の1, 相武台前1の2, 相武台前1の3, 相武台前2の1, 相武台前2の2, 相武台前2の3, 相武台前2の4, 相武台前2の5, 相武台前2の6, 相武台前3の1, 相武台前3の2, 相武台前3の3, 相武台前3の4, 新磯野3丁目第1, 相信, 相武台サンハイム, サンヴェルジュ相武台)

○地区概況

台地(上段)にあり、全体に平坦な地形であるが、中央付近を南北方向に浅い谷が通っている。西側は在日米陸軍キャンプ座間ゴルフコースに接する。東側には小田急小田原線が通り、相武台前駅付近には商業施設も多いが、その他は住宅地である。

○建物数・人口

建物		区分		建物(棟数)	
建物	木造(昭和55年以前)	457	棟		
	木造(昭和56年以降)	750	棟		
	非木造(昭和55年以前)	68	棟		
	非木造(昭和56年以降)	472	棟		
	合計	1,746	棟		
人口		区分		人口(人)	
人口	0~4歳	326	人		
	5~64歳	6,082	人		
	65歳以上	1,696	人		
	合計	8,104	人		

○所見

- ・浅い谷の付近は周囲より低く、水が集まりやすい。
- ・相武台前駅付近では、通勤時等に不特定多数の人が多い。
- ・富士山の大規模噴火時には2~30cmの降灰が予測されており、その場合、道路・鉄道の通行不能をはじめ、停電や取水停止など重大な被害を受ける。

○防災関連施設

市役所、まちづくりセンター、出張所等の主な公共施設	相武台まちづくりセンター, 相武台公民館
警察署	
消防署	
消防団詰所	
病院等	荘加医院
主な災害時要援護者施設	ほのぼのグループII, アライブかながわ
幼稚園、保育園	新磯野保育園, つくしの幼稚園
学校、大学	緑台小学校
避難所 ※洪水時避難所兼用	緑台小学校
洪水時避難所	
広域避難場所	
防災備蓄倉庫 ※広域避難場所対応	緑台小学校
臨時ヘリポート	

○地震被害予測結果

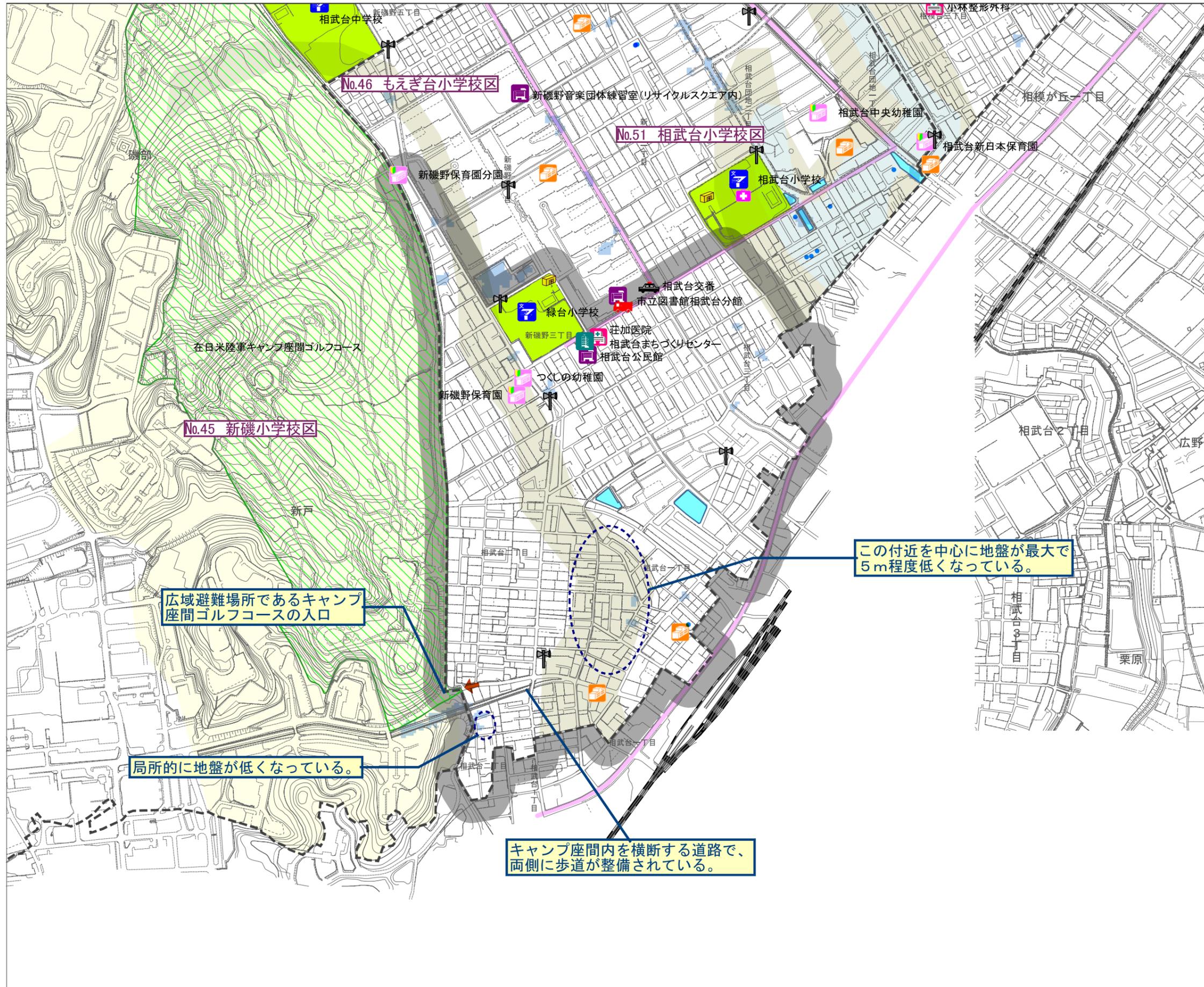
	東部直下地震		西部直下地震		大正関東タイプ地震	
	被害量	比率	被害量	比率	被害量	比率
建物全壊	55 棟	3.1 %	3 棟	0.2 %	42 棟	2.4 %
建物焼失	11 棟	0.6 %	1 棟	0.0 %	0 棟	0.0 %
死者	3 人	0.0 %	0 人	0.0 %	3 人	0.0 %
閉込者	21 人	0.3 %	1 人	0.0 %	16 人	0.2 %
重傷者	4 人	0.1 %	0 人	0.0 %	3 人	0.0 %
軽傷者	34 人	0.4 %	7 人	0.1 %	29 人	0.4 %
避難所避難者(当日)	190 人	2.3 %	22 人	0.3 %	132 人	1.6 %
避難所避難者(1週間後)	565 人	7.0 %	172 人	2.1 %	483 人	6.0 %

○災害危険度評価

危険度評価項目	→危険度が高い
水害	
土砂災害	
地震による地盤災害	
地震による建物被害、火災	

○近年の主な災害履歴

平成 1年 8月19日 床上浸水1戸



### 凡例

#### 防災関連施設等

	市役所、まちづくりセンター等
	公民館、主な公共施設等
	警察署、交番、駐在所
	消防署
	消防団詰所
	病院等
	主な災害時要援護者施設 幼稚園、保育園
	学校、大学
	避難所・洪水時避難所
	広域避難場所
	広域避難場所への車両進入可能箇所
	救護所
	防災備蓄倉庫
	ひばり放送塔
	雨水調整池
	臨時ヘリポート
	災害時協力井戸
	緊急輸送路
	小学校区境界
	地区自治会連合会境界

#### 地形分類

	山地・丘陵地
	低地
	台地
	台地上の浅い谷
	段丘崖
	山麓堆積地形・扇状地
	人工地形

#### 災害履歴

	浸水があったところ
	土砂災害があったところ

#### 災害危険箇所等

	重要水防区域
	浸水想定区域(河川氾濫)
	浸水想定区域(内水)
	浸水被害警戒地域
	土石流危険渓流
	土石流危険区域
	急傾斜地崩壊危険箇所
	地すべり危険箇所

#### 書き込み欄


みなさんが知っている防災の情報を記入しましょう(例: 浸水しやすいところ、防火水槽の位置など)



1:7500

